

親子クイズ 529

日本の世界遺産の中には、戦火での焼失や、老朽解体や売却の窮地に陥っていた建造物がありました。その窮地から救った高知県人が二人います。彼らの尽力もあり、現在も華麗なたたずまいを、目にする事が出来るのです。世界遺産名と救った高知県人をお答え下さい。

世界遺産名 () 高知県人 ()

世界遺産名 () 高知県人 ()

【第528回解答】

【第528回当選者】

- 長尾 宏 (大浦甲)
西村 智恵 (緑ヶ丘)
小松 豪 (比江)
島崎 壬紅 (大浦甲)
栗山 佐和 (大浦甲)

★応募総数/36通 ★正解率/83%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

- 応募締切/6月10日(金) 必着
■あて先/〒783-8501
南国市大浦甲2301
南国市企画課「親子クイズ係」
*はがきで応募
■賞品/正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

ふれあいつながり 63 人権学習シリーズ

日頃から仕事等でストレスがたまり、あまりやる気がおこらず、何をするにしても億劫な日々を過ごしていたところ、職場の同僚から「バレーボールの練習がある」との誘いを受け、久しぶりに参加しました。

仲間たち



若い時にバレーボールを夢中になってやっていた時期もあったので、はりきって臨んだものの、実際やってみると昔のように体は動かず、パスは5、6回続けばいいほうで、自分の目の前に落ちるボールにすぐに反応できない、ジャンプしてスパイクを打つなどもつてのほか...といった、外から見れば本来のバレーボールの姿とは程遠い、そんな状況でした。

しかし、みんなと一緒にプレーしているうちに、自然と楽しい気持ちになり、いい汗をかくことができ、爽快な気分になっていく自分がありました。その日は、日常のごす環境と違ったことに取り組むことで、気分転換ができ、何だか元気になった(自分を取り戻せた)気がしました。

少しふさぎ込みがちだった自分

なんこく歴史散歩 第42回

「エンコウ」とは河童によく似た妖怪のことで、県内にはエンコウが川の中に馬を引きずり込もうとした話や相撲を挑んできた話など、多くの伝承が残っています。



ショウブ小屋

エンコウ祭

この祭りでは子ども達が主役となり、地域ぐるみで成長を祈る気持ちで込められています。



祭りの様子



エンコウ祭り位置図

問い合わせ 生涯学習課文化財係 880-6569

エンコウライフ 191

ワイワイとやっています!

白木谷サロンの皆さん (白木谷)



月に2回白木谷公民館に集まり、2時間ほどみんなで雑談をしたり、歌を歌ったりしています。行事があるときや忙しい月は1回の場合や行わない月もあります。サロンには、白木谷校区から平均30人近くの参加者が集まっています。

で、社協の方から何度かやってみないかと誘われたのがきっかけです。問題は場所の確保でしたが、小学校や公民館の協力によりサロンを始めることができました。 サロンで雑談をしながら次の時に何をするかを話し合ったり決めていきます。フラダンスをおこなったり、最近ではチラシや新聞紙で工作をし、バッグづくりや折り紙でおひなさまを作ったりしました。外部の方を呼ぶこともあり、南国市役所から振り込め詐欺の寸劇や、マイナンバーの説明などを行っていただいたこともありました。 サロンの中では軽食も用意しています。参加者から毎回一人100円を集めて材料費に充てています。また参加者の方からもトマトやみかんといったものを持ってきてくれることもあります。軽食はホットケーキや簡単なごはんものなどですが、一月はおせち料理を作りました。主にボランティアと農協女性部の手伝いなどで料理をしています。 現在も参加者は募集中で誰でも歓迎しております。地域での助け合い、協力により成り立っています。みんなが心地よく手伝ってくれ、堅苦しくなくワイワイとやっています。

これから健康のために体操も行っていききたいとのことでした。人とのつながりを大切にしているサロンの魅力を感じました!